

第24回国家公務員共済組合連合会契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和6年9月30日(月) 九段合同庁舎9階 共用第一会議室
委員 (敬称略)	<p>委員長 栗田 誠 (千葉大学名誉教授)</p> <p>委員長代理 藤川 裕紀子 (藤川裕紀子公認会計士事務所 公認会計士)</p> <p>委員 柳澤 聡 (平沼高明法律事務所 弁護士)</p> <p>委員 佐野 豪俊 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)</p> <p>委員 奥村 穰 (国家公務員共済組合連合会 常任監事)</p>
【審議案件】	7施設の電気需給契約(令和2年度から令和6年度まで)
審議内容	<p>案件1-1 担当部局 : 東北公済病院(病院部)</p> <p>案件1-2 担当部局 : 三宿病院(病院部)</p> <p>案件1-3 担当部局 : 大手前病院(病院部)</p> <p>案件2-1 担当部局 : 横須賀共済病院(旧令病院部)</p> <p>案件2-2 担当部局 : 呉共済病院(旧令病院部)</p> <p>案件3-1 担当部局 : 熊本共済会館(宿泊事業部)</p> <p>案件3-2 担当部局 : 下呂保養所(宿泊事業部)</p>
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり
理事長に対する意見の 具申又は勧告の内容	なし

### 工夫が見られた事例に関する意見

- ・ 契約価格を引き下げるには、電力会社と粘り強く交渉するところに何か糸口があるかもしれない。具体的にどのような交渉をしたのかを連合会全体で共有していただきたい。
- ・ 外部団体から提供された価格情報等で連合会全体に有用な情報は、連合会全体で共有していただきたい。【三宿病院】
- ・ 様々な工夫をして調達コストを下げようとしていることは分かったが、試算データにあるダイナミックプランの電力量料金の単価は時価となっている。当該電力会社は市場価格連動型の料金プランのほかに市場価格だけに任せない、もう少し安定的な料金設定ができるようなプランもあったと思う。【熊本共済会館】

### 改善の余地が大きい事例に関する意見

- ・ 本部から様々な指示があったにもかかわらず、自院に都合の良い解釈をしている部分が見受けられる。特に新電力を比較検討する際には、なぜここを選ばないのかとか、なぜここがいいのかといった比較が必要であると考えます。【大手前病院】
- ・ 安定供給が一番であり、金額のみでの採用にはならないとのことであるが、例えば複数者が応札した場合は金額によって決まってしまうため、このポリシーは貫きづらい状況になるが、この辺りをどのように考えているのか。【呉共済病院】
- ・ 市場価格連動型料金プランを契約する際には十分注意をしないと、かえって割高になるおそれがある。燃料費が安いときには多少割高になるかもしれないが、安定的に事業を行っていく上では、料金が急激に変動しない、すなわちリスクの小さい契約を選ぶということもあり得るのではないか。【下呂保養所】

### 【電気需給契約に関する審議全体を通じての意見等】

- ① 今後に向けてどのような点を改善すべきなのか、また具体的にどのような方法で進めていくかについては、本部が主体となって組織的に取り組んでいただきたい。
- ② 多数の病院及び宿泊施設がかなりの規模の電力調達を行っているので、契約の効率化や調達コストの引下げに向けて、①も含めた電力調達に関するマニュアルを整備し、各施設がそれを参照しながら、地域の実情やそれぞれの施設の状況に合わせて適切な契約、あるいは相手方を選択していく必要がある。
- ③ 現行の電力調達方法が規則や規程との関係で問題がないのかを確認するとともに、随意契約に依らざるを得ない場合は、経済的・効率的な調達ができるようにやり方を工夫するほか、随意契約の場合においても相見積りを取る、経緯を書面に残すなどの手続によって透明性を確保していただきたい。